

「服を難民と地球の為に」

飯塚市立飯塚第二中学校 2年 辻 優姫菜

今、世界で困っている人達がいる。それは難民だ。彼らは国どうしの戦争に巻き込まれ、必要最低限のものも十分に持っていけず、難民キャンプという所でひっそりと暮らしている。

そんな中、難民の中には少なからずいる。しかし、その子供の大半は衣類を身に着けておらず、ずっと裸のまま生活している。そんな彼らの為に今、洋服を集めている。GUの人達とユニクロの人達が学校に来てその事を説明してくれて、後に服のカプロジェクト委員会が出来た。私は今その委員会に入って、服を集めるためのポスターを書いたりしている。今は服を入れるダンボールに貼る絵を書いたりしている。

服のカプロジェクト委員会が出来て、私は全力で協力しようと思った。それには理由がある。私はデザイナーになろうと思っていたけど、難民の人達の話聞いてから、もっと人の役に立てるようなデザイナーになろうと思ったから。今まではただ洋服を作りたいという興味で目指していたと思っていたが、話を聞いてから目指す理由が変わったから委員会に入り、活動をしている。

個人的には、服の数は7万着くらい集まれば良いなと思っている。話を聞いていたら、前にこの取り組みをした結果、約32万着もの洋服が集まったと言っていたが、それでも全然足りないと言っていたから、その分を上回る洋服の量を集めたいと思っている。

難民の人達の現状を聞いて、自分は地球や世界の事について何も知らないんだなと思った。SDGsの今までの活動を聞いて来たけど、あまり主にどんな活動をして良いのか分からなくて、あまり為になる事が出来ていなかったけれど、少しでも力になれる事があって私もちょっと嬉しい気がする。

この活動は中学校だけじゃなく、小学校も活動している。本当に世界の事を知らなくて困っている人がたくさんいる今を知って、この事を理解していなかった自分が少し情けないと思っている。SDGsの活動を説明されても少しでもその事について調べなかった事を後悔している。だから今後は、SDGsについてどのような活動を行ったりしたら良いかやその事について色々調べたりして自分がしてこなかった事を少しずつして行きたい。身近な人を思うのも大事だけど、もっと幅広く世界の人達にも何か小さな事が出たら良いと思う。人の為に何かをするのは自分に対しての道徳心として身につくと思う。そしてそこからまた世界の人達の為に動くきっかけが出来ると思う。今後、学校で洋服を集めるが、もちろん自分もたくさん洋服を持って来るが、出来れば自分達の学校だけじゃなく全国の学校で少しでも集まる量が増えて、難民の子供達が笑顔になってほしいと思う。今後の難民の子供達の未来の為に活動したい。